

2006年度 国際シンポジウム開催趣旨



中国は今や国際社会においてその重要度を急速に増すとともに、責任大国としてその姿を登場させつつある。中国企業の海外進出や多国籍化の問題を始め、エネルギー・環境問題、農村食料問題、さらには地域安全保障をめぐる問題、文化相互理解の問題など、懸案となる諸課題は枚挙に暇がない。こうした情勢に応じて、中国自体も世界に向けて自国の歴史と現在の実情についてより深い理解を求める姿勢を強め、「世界中国学」の構築を呼びかけるようになっている。

これに対して戦後、地域研究の一部門として開始した国際社会の側の中国研究は、依然各国ごとに個別分散的に展開されており、必ずしも中国に対する理解が深まっているとは言えない。そこには欧米文化と文明を中心として、中国をその周辺の従属的位置に置いて、これをオリент（東方世界）と見なすオリエンタリズムがなお抜きがたく存在し、「中国脅威論」が旧態依然の「黄禍論」（Yellow Peril）の衣装をまとうて繰り返しの姿を現す状況にある。

愛知大学はこうした中国理解あるいは中国研究の現状の弊害を打破するべく、2002年10月文部科学省のCOEプログラムの採択を受けて「国際中国学研究センター」を発足させ、国際的に統一した枠組みを持つ「現代中国学」の構築を目指して研究交流面、人材養成面の両面で今日まで最大限の努力を重ねてきた。本プログラムに参加した人々は、世界8カ国2地域、累計200人に及んだ。

今回の国際シンポジウムはこのプログラムの当面の成果を総括する極めて重要な意義を有する会議となる。本シンポジウムは、過去5回にわたって開催された国際会議のこれまでの濃密な議論を踏まえて、さらに一步を進め、国際的に統一的方法論を持つ「現代中国学」の実現可能性について最終的な結論を下すと同時に、経済、政治、文化、環境の各領域における具体的な諸課題について一致した見解を示すとともに暫定的なものであれ解決策を提示する会議となる。

愛知大学国際中国学研究センター所長
21世紀COEプログラム拠点リーダー
加々美光行

ACCESS



お申込み方法

往復はがき、FAXにて郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記の上、下記住所までお申込みください。また、下記ホームページからもお申込みいただけます。後日受講表をお送りいたします。但し、先着順のため、定員になり次第、締切りとさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

お申込み・お問合わせ先

愛知大学国際中国学研究センター (ICCS) 事務局

〒470-0296 愛知県西加茂郡三好町黒笹370
電話: 0561-36-5637 FAX: 0561-36-5422
E-mail: coe-iccs@moon.aichi-u.ac.jp URL: <http://leo.aichi-u.ac.jp/~iccs/>

主催/愛知大学 後援/地域研究コンソーシアム (JCAS)

愛知大学21世紀COEプログラム

愛知大学国際中国学研究センター (ICCS)

国際シンポジウム

現代中国学の 課題と展望

期間

11月23日(木)~11月26日(日)

会場

愛知大学車道校舎
本館3階コンベンションホール

(11月23日(木)、26日(日))

中日パレス

(11月24日(金)、25日(土))



11月23日(木) 10:00～18:00 (9:30開場)

オープニングセッション

会場：愛知大学車道校舎本館3階コンベンションホール

10:00-10:05 **開会挨拶**

武田信照 (愛知大学長)

10:05-10:30 **趣旨説明**

加々美光行 (愛知大学・COE拠点リーダー)

特別講演会

10:30-12:30 **特別講演**

講師：Phil Deans (ロンドン大学東洋アフリカ学院)

演題：政冷経熱 ～日中関係におけるナショナリズムの衝撃～

◆ 昼食休憩 12:30-13:30 ◆

総合セッション

セッション・テーマ

現代中国学の課題と展望～COE-ICCS研究会報告～

第1パネル 現代中国学をめぐる格闘 ～主査による基調報告～

13:30-14:00 **基調報告①** 加々美光行 (愛知大学)

「中国学と現代中国学構築」研究会報告

14:00-14:30 **基調報告②** 高橋五郎 (愛知大学)

「現代中国経済とアジア経済圏形成」研究会報告

14:30-15:00 **基調報告③** 張 琢 (愛知大学)

「中国文化とアジア世界の文化共生」研究会報告

15:00-15:30 **基調報告④** 加々美光行 (愛知大学)

「現代中国政治とアジア世界平和構築」研究会報告

15:30-16:00 **基調報告⑤** 榎根 勇 (愛知大学)

「現代中国とアジア世界の人口生態環境問題」研究会報告

◆ コーヒーブレイク 16:00-16:20 ◆

16:20-18:00

第2パネル パネルディスカッション



11月24日(金) 10:00～17:30 (9:30開場)

政治分科会

会場：中日パレス・クリスタルの間

分科会テーマ

「調和と矛盾～中国の内外政治とその枠組み～」

コーディネーター：加々美 光行 (愛知大学)

報告者 Reinhard Drifte (ロンドン大学L.S.E) / 時 殷弘 (中国人民大学)

陳 東林 (中国社会科学院当代中国研究所) / 朱 光磊 (南開大学)

楊 棟梁 (南開大学) / 張 玉林 (南京大学/愛知大学) / 趙 宏偉 (法政大学)

三船恵美 (駒澤大学) / 平野 聡 (東京大学) / 西条 正 (新潟産業大学)

馮 昭奎 (愛知大学)

経済分科会

会場：中日パレス・コスモスの間

分科会テーマ

「中国資本海外直接投資をどう捉えるか
～海外へ向かう中国経済の研究法の総括と展望～」

コーディネーター：高橋五郎 (愛知大学)

報告者 Eric Harwit (ハワイ大学) / 周 立群 (南開大学)

康 栄平 (中国社会科学院世界経済・政治研究所) / 柳 欣 (南開大学)

賈 保華 (对外経済貿易大学/愛知大学) / Lu Ding (上智大学)

朱 炎 (富士通総研経済研究所) / 大橋英夫 (専修大学)

小島末夫 (国士舘大学) / 川井伸一 (愛知大学) / 佐藤元彦 (愛知大学)

古澤賢治 (愛知大学) / 李 春利 (愛知大学)

文化分科会

会場：中日パレス・アイリスの間

分科会テーマ

「改革・変革と社会・文化の変容～過去と現在～」

コーディネーター：馬場 毅 (愛知大学)

報告者 李 長莉 (中国社会科学院近代史研究所) / 陸 益龍 (中国人民大学)

Ronald Suleski (ハーバード大学) / 小林一美 (神奈川大学名誉教授)

並木頼寿 (東京大学) / 藤谷浩悦 (東京女学館大学) / 張 琢 (愛知大学)

周 星 (愛知大学) / 松岡正子 (愛知大学) / 高 明潔 (愛知大学)

環境分科会

会場：中日パレス・セントラルの間

分科会テーマ

「現代中国環境論の総括と展望」

コーディネーター：榎根 勇 (愛知大学)

報告者 劉 昌明 (中国科学院地理科学・資源研究所)

高 玉葆 (南開大学) / 魯 奇 (中国科学院地理科学・資源研究所)

鄒 驥 (中国人民大学) / 鄧 南聖 (武漢大学)

宋 献方 (中国科学院地理科学・資源研究所) / 吉野正敏 (国連大学)

内嶋善兵衛 (お茶の水女子大学名誉教授) / 倉阪秀史 (千葉大学)

後藤尚弘 (豊橋技術科学大学) / 一ノ瀬俊明 (国立環境研究所)

柳下正治 (上智大学) / 宮沢哲男 (愛知大学) / 藤田佳久 (愛知大学)

大澤正治 (愛知大学)



11月25日(土) 10:00～17:30 (9:30開場)

方法論分科会

会場：中日パレス・セントラルの間

分科会テーマ

「現代中国学の課題と展望」

コーディネーター：加々美光行 (愛知大学)

報告者 Bernhard Fuehrer (ロンドン大学東洋アフリカ学院)

Bulag Uradyn E. (ニューヨーク市立大学) / 金 觀濤 (香港中文大学)

劉 青峰 (香港中文大学) / 周 長城 (武漢大学)

溝口雄三 (東京大学名誉教授) / 田島英一 (慶應義塾大学)

劉 新 (カリフォルニア大学バークレー校)



11月26日(日) 9:00～12:40 (8:30開場)

総合討論

会場：愛知大学車道校舎本館3階コンベンションホール

9:00-12:30 **総合討論：**

現代中国学は何を目指し、何を実現するか

12:30-12:40 **閉会挨拶**